

深谷市新庁舎の基本理念

- 1 市民にとって安全・安心な庁舎
- 2 市民サービスの向上を目指した庁舎
- 3 人にやさしく、市民に開かれた庁舎
- 4 自然環境にやさしい庁舎
- 5 シンプルで機能性と経済性に優れた庁舎



1. 安全・安心



災害時に雨がかかるない物資搬入スペースとして、建物周囲に庇下の空間を整備

地震時の落下物を抑制する為に、構造と意匠が一体となつた天井を採用

防災拠点としての役割を継続させる為に、地震時の揺れを低減させる免震構造を採用

2. 市民サービスの向上



市民が多く利用する部署を集約した、見通しがよく明るい市民窓口

レンガの透かし壁を利用したわかりやすい配置の総合窓口

プライバシーに配慮した相談室を待合いスペースに隣接して配置

3. 人にやさしく



まちの「にぎわい」と連携し、深谷のお祭りや市民活動の中心の場となる「市民広場」

「市民広場」に隣接して、交流・協働スペースとなる「多目的ホール」を配置

4. 自然環境にやさしい



深谷の豊かな日射量を最大限に活かし、屋根に約150KWの太陽光パネルを設置

5. 優れた機能性と経済性



レンガの特性(蓄熱効果)を活かした自然換気によりエネルギー消費を軽減

将来の組織改変などへの柔軟な対応を可能にする、広くオーブンな執務室

四角(レンガ)と円形(木材)のシンプルな構成とすることで機能的で拡張性のある空間とした議場

「深谷らしさ」

市民に親しまれ、まちづくりの活性化につながる庁舎



レンガのまち深谷

4階建ての低層で伸びやかなレンガの外観は、深谷の「人・歴史・まち」と調和した「深谷の新たな景観」となります。



馴染みの深い素材

市の発展を議論する「象徴的な場」議場は、市民に馴染み深い「瓦」の素材を取り入れました。



歴史遺産の継承

深谷の歴史遺産である煉瓦工場「ホフマン輪窯」のアーチのデザインを継承しました。